

## 2019年度 どうぶつたちの病院 事業報告

どうぶつたちの病院では、2019年度も対馬やイベント等において、ツシマヤマネコをはじめ野生動物の保護活動と飼育動物の適正飼養普及活動などに取り組みました。

2019年度は錯誤捕獲による救護が多い年でした。その中で、治療・飼育中の事故が発生してしまったことは非常に残念でした。事故の教訓を活かし、職員の意識改革は勿論、より良い環境で治療・飼育が出来るように環境省と協力していきたいと思っています。

地域に根ざし、地域と共に、どうぶつたちの病院は今後も活動を続けてまいります。引き続きご支援いただけますようよろしくお願いいたします。それでは、2019年度の活動の概要を報告いたします。

### 対馬プロジェクト

長崎県対馬のみに生息し、絶滅の危機に瀕するツシマヤマネコの保護活動のため、本法人は対馬動物医療センター（動物病院）を運営し、獣医師と動物看護師が常駐しています。また、環境省の対馬野生生物保護センターにツシマヤマネコの飼育担当等を常駐させています。

#### ■ ツシマヤマネコ保護事業 ■

現在のツシマヤマネコの野生個体数（推定） 90～100 頭

2019年度 保護された個体数 6 頭

##### ① Mg-75

- ・2020年2月1日、鹿くくりわなによる錯誤捕獲
- ・2016年12月25日にも錯誤捕獲（はこわな）された経緯があり、3年ぶりの再会となりました。
- ・長期間にわたる入院室での管理、手術を経て、無事に完治しました。
- ・2020年3月20日、保護地点で放獣しました。



患肢の腫れと発赤（2月1日）



皮膚壊死・欠損（2月13日）

対馬では鹿・猪による森林や農業被害が問題となっています。捕獲わなの設置による鹿・猪対策は必要ですが、それによってヤマネコが錯誤捕獲されることも稀に起こります。今回はわな設置者の方が頻りに巡回し、ヤマネコを発見後迅速に通報してくれたので、大事に至らず無事に放獣することが出来ました。

② Mm-80

- ・2019年12月8日、錯誤捕獲（はこわな）により保護しました。
- ・検査の結果は問題なく、即日放獣しました。
- ・2017年12月28日にも錯誤捕獲（はこわな）された経緯があり、2年ぶりの再会となりました。

③ Mh-85

- ・2019年11月16日、錯誤捕獲（はこわな）により保護しました。
- ・検査結果を踏まえ協議し、即日放獣となりました。

④ Mh-86

- ・2019年12月6日、錯誤捕獲（はこわな）により保護しました。
- ・後肢に重度の外傷が認められ、指の切除を行いました。
- ・治療中、入院室内の構造物に前肢が挟まり、斃死しました。

時に野生のヤマネコは予期せぬ行動をします。この個体もまさにそんな感じでした。とは言え、この事故を回避する術が無かった訳ではないと考えています。ヤマネコの入院室は随分前に造られたもので、飼育員が改良を加えながらやりくりしてきました。今回の事故で、小手先の改良では防ぐことが出来ない事がある、それを痛感させられました。本格的な改修には多くの費用が必要になりますが、環境省と協議を重ね、今年度の改修が予定されています。安全に治療・管理出来る施設の提案を今後も続け、1頭でも多くのヤマネコを野生に戻してあげられるよう、今後も努力していきたいと思います。

⑤ Mt-87

- ・2020年1月6日、民家の倉庫で捕獲されました。
- ・検査の結果、重度の寄生虫感染と腸炎が確認され、収容する事になりました。
- ・しかし、入院室内で暴れ、構造物に噛みつくなどの問題行動が確認されました。
- ・安全管理が困難と判断され、即日放獣することとなりました。

⑥ Mg-88

- ・2020年2月7日、錯誤捕獲（はこわな）により保護しました。
- ・検査結果を踏まえ協議し、即日放獣となりました。

2019年度は多くの個体が保護されました。きちんと治療して放獣出来た個体、不本意なかたちで放獣せざるを得なかった個体、治療中に死亡させてしまった個体。人の入れ替わり、社会情勢の変化、色々な事が変化する中で、今まで出来ていた事が出来なくなる、それを痛感した1年でした。何の為の、誰のためのヤマネコ保護活動なのか。やらない理由、やれない理由を探すのではなく、ヤマネコの為に何が出来るのかを1番に考え実行する。そんな環境を構築できるように今後も取り組んでいきたいと思います。

交通事故による死亡 7頭

●対馬野生生物保護センターで飼育されているツシマヤマネコの飼育や健康診断、野生のツシマヤマネコの緊急的な保護や治療等、普及啓発事業の補助、ツシマヤマネコの保護増殖に関する会議への出席等、実施しました（環境省受託事業）。

展示個体の福馬は長い闘病生活の末、2019年7月24日に死亡しました。福岡市動物園で生まれ、対馬で過ごし、多くの人に愛された15年3ヶ月だったと思います。

福岡市動物園から4代目展示個体として、「かなた」が来ました。2019年11月2日から一般公開を開始しています。福馬とはまた違った性格の持ち主、若いので元気いっぱいです。

ナミちゃん（非公開個体、先天性心疾患）も変わらず元気一杯です。時々調子を崩すことはありますが、本当に心臓病なの！？と思うほどです。



かなた



ナミ(ケージトレーニング)

●国が進めるツシマヤマネコ野生復帰事業に向けたツシマヤマネコの生息環境整備のため、対馬地区ネコ適正飼養推進連絡協議会（※）では2013年度から飼い主不明のネコ（ノラネコ、世話ネコ）への不妊化処置を実施しています。ツシマヤマネコの生息を脅かす原因のひとつであるノラネコからの感染症を防ぎ、ノラネコの個体数を減らす対策です。同協議会と各集落が協力して実施体制を構築し、本法人がネコの捕獲・不妊処置やワクチン接種、マイクロチップ挿入等の医療処置を実施し、捕獲集落にて放獣しています。2019年度は上対馬町大増など8地区と公共施設敷地内（厳原町小浦ダム）にて、合計41頭のネコを処置しました（対馬市受託事業）。

（※対馬地区ネコ適正飼養推進連絡協議会：環境省、長崎県、対馬市、学識経験者、長崎県および福岡県獣医師会、本法人）

●また、飼い主不明のネコ以外の「飼養ネコ」に対しては、対馬市ではネコ適正飼養条例により、マイクロチップ挿入および飼育登録と不妊処置（屋外飼育の場合）が義務化されています。2018年度までは対馬地区ネコ適正飼養推進連絡協議会の「ネコの健康生活サポートキャンペーン」により、飼い主の負担を軽減（2012年までは全額無料、2013～2018年は一部負担）してきましたが、キャンペーン終了に伴い2019年度からは、飼い主の全額負担となりました。なお、FIV（ネコエイズ）/FeLV（ネコ白血病）検査は、日本全業工業株式会社様のご厚意により、これまで通り無料で実施できました。

費用が飼い主全額負担となった2019年度も、不妊処置等の実施件数は111頭と、前年度に比較して大きく減少せず、これまでの普及啓発活動が功を奏し、市民の意識が変化してきたと考えられます。

## ■ ツシマヤマネコ以外の野生動物保護事業 ■

地域住民および関係機関からの要請を受け、本法人対馬動物医療センターにて3件の野生動物を救護しました。

内訳：オオコノハズク（1）、ハシブトガラス（1）、ハイタカ（1）

予後：野生復帰0、死亡1、終生飼育3（トビ、オオコノハズク、ハシブトガラス）

## ■ 一般診療事業 ■

対馬市北部にある唯一の動物病院として、本法人対馬動物医療センターにて1,641件の診療を実施しました。

## ■ 教育普及活動 ■

### ● ツシマヤマネコを飼育している動物園でのイベント参加

京都市動物園 「ヤマネコ博覧会」（10月19～20日）  
2012年の初回から皆勤賞、2019年も参加しました。  
ブースを出展して、活動紹介のパネル展示とオリジナル商品の販売のほか「つしまやまねこかるた」を実施。このかるたは2017年に井の頭自然文化園との協同で制作し、京都市動物園では初めての試みでした。小学生を対象に、ツシマヤマネコの特徴や生態、生息数減少の理由である交通事故や感染症等とそうした解決への希望が盛り込まれています。



井の頭自然文化園「やまねこ祭」（10月26～27日）  
秋のやまねこ祭としては通算8回目の参加となりました。爽やかな秋空のもと、活動紹介やオリジナルグッズ販売、井の頭自然文化園ではお馴染みの「つしまやまねこかるた」、福岡から参加の杉谷獣医師によるペットのお悩み相談コーナーを実施し、ツシマヤマネコの状況やペットの適正飼養の必要性を伝えました。





● 実習生の受け入れ

対馬動物医療センターおよび対馬野生生物保護センター（TWCC）にて、実習（職場体験等）の受け入れを行いました。

- ・ 佐須奈中学校 1名（職場体験）
- ・ 対馬野生生物保護センター夏期実習生 4名（講義、ノラネコ捕獲現地視察）
- ・ 東海大学 1名（インターンシップ）
- ・ 社会人 1名（インターンシップ）

## 収支報告

		(単位：円)
<b>収入の部</b>		
	会費収入	95,000
	寄付金収入	141,935
	助成金収入	0
	事業収入	33,778,467
	その他（雑収入、受取利息など）	96,116
	計	34,111,518
<b>支出の部</b>		
	<b>事業費</b>	
	対馬プロジェクト	28,020,845
	受託事業	(15,314,114)
	独自事業（動物診療）	(12,205,926)
	普及啓発事業	(500,805)
	管理費	6,194,187
	計	34,215,032
	<b>当期収支差額</b>	△ 103,514
	前期繰越収支差額	38,199,728
	次期繰越収支差額	38,096,214

2019年度事業報告は以上です。